

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、「男女平等参画社会」の実現に向けた様々な取り組みを更に充実させ、今後の施策の参考とするため、現状の市民意識や実態、要望等の情報を整理・分析し、課題を明らかにすることを目的に実施しました。

2. 調査方法と回収状況

調査地域：町田市全域

調査対象者：市内在住の満20歳以上の男女個人3,000人
(女性1,500人、男性1,500人)

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査期間：2021年4月28日（水）～5月19日（水）

調査方法：郵送配布・郵送回収

<回収状況>

	全 体				
	女性	男性	その他	無回答	
配布数	3,000票	1,500票	1,500票		
有効回収数	1,286票	758票	516票	3票	9票
有効回収率	42.9%	50.5%	34.4%		

3. 調査項目

1. ご自身のことについて
2. 家庭内の役割分担について
3. 家庭生活と社会生活の両立について
4. 子育てや教育について
5. 介護について
6. 就労・職場について
7. 人権について
8. 性の多様性について
9. 地域活動・社会活動について
10. 女性活躍について
11. 男女平等について

4. 報告書の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・性別の選択肢「その他」の回答数が「3」であったため、報告書中の性別に係るグラフ集計においては、全体数には計上されていますが、「その他」としての掲載は、「1. ご自身のことについて（1）性別」の箇所以外では行っていません。これは回答の傾向をみるにあたり、十分な母数に達さなかったためです。
- ・比較として掲載した前回調査とは、2016年に実施した「町田市男女平等参画に関するアンケート調査」、前々回調査とは、2010年に実施した「町田市男女平等参画に関するアンケート調査」を表しています。また、国の調査とは、内閣府が2019年に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」、東京都の調査とは、東京都生活文化局が2020年に実施した「男女平等参画に関する世論調査」を表しています。
- ・問27「女性の参画を促すのに必要な支援」の選択肢7「保育・介護の支援などの公的サービス」については、調査票上で誤記がありました。本報告書の第2章「調査結果の詳細」及び第4章「集計表」では訂正して表示しています。